

2024年5月20日

各位

会社名 株式会社大和証券グループ本社  
代表者名 代表執行役社長 荻野 明彦  
(コード番号 8601 東証プライム・名証プレミア)

## 大和証券グループ 中期経営計画 “Passion for the Best” 2026

大和証券グループは、2024年度から2026年度までの3年間を対象期間としたグループ中期経営計画「“Passion for the Best” 2026」を策定しましたのでお知らせします。詳細につきましては、以下をご参照ください。

■大和証券グループ 2024年度 経営戦略説明会

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8601/announcement2/68885/01.pdf>

以上

# 新中期経営計画 “Passion for the Best” 2026 (ダイジェスト版)

2024年5月20日

株式会社大和証券グループ本社

PASSION  
FOR THE  
BEST

## グループ経営基本方針

# “お客様の資産価値最大化”

グループそれぞれの事業領域において、お客様のニーズや課題を深く理解し、お客様の状況や経済環境に応じた最善・最適で質の高いソリューションを提供することで、中長期的なおお客様の資産価値/企業価値の最大化に貢献する

中計目標  
(FY2026)

経常利益  
2,400億円以上

ROE  
10%程度

ベース利益\*  
1,500億円

## グループ戦略骨子

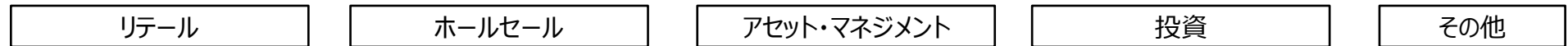
- 1 お客様へ提供する付加価値の追求
- 2 アセットマネジメントビジネスの高度化とビジネスモデル変革
- 3 非連続な成長戦略の推進（外部連携・M&A・成長投資）
- 4 経営資源のリアロケーションと管理高度化
- 5 デジタル・イノベーションの追求

# 新セグメント体制

- 「リテール」を「ウェルスマネジメント」に変更。大和ネクスト銀行、大和コネク特証券、Fintertechを「その他」セグメントから移管
- 「投資部門」がビジネスモデルを転換していくことを踏まえ、「アセットマネジメント」内の「オルタナティブAM」として位置づけ

## 新セグメント体制

(旧)



(新)



### ★「その他」→「ウェルスマネジメント」

#### 大和ネクスト銀行 Daiwa Next Bank

##### 大和証券を代理店とするネット銀行

- 預金口座数：178.6万口座\*
- 預金残高：4.5兆円\*
- FY23経常利益：105億円

#### 大和コネク特証券

##### 大和証券グループのスマホ専門証券

- ターゲット：投資初心者 & 若年層
- 売買手数料：日本株は月10回・年間120回まで無料
- NISA：対応

#### Fintertech

##### フィンテック領域における戦略的の子会社

- 出資：大和証券グループ本社 80%  
クレディセゾン 20%
- 最先端のテクノロジーを活用した次世代金融サービスを創出

# 数値目標：グループKPI

|          |                                    |                  | 全社 | WM | AM | GM&IB |
|----------|------------------------------------|------------------|----|----|----|-------|
| 業績       | 経常利益                               | 2,400億円以上        | ●  |    |    |       |
|          | ROE                                | 10%程度            | ●  |    |    |       |
|          | ベース利益 <sup>*1</sup>                | 1,500億円          |    | ●  | ●  |       |
| お客様資産    | 預り資産 <sup>*2</sup>                 | 120兆円            |    | ●  |    | ●     |
|          | ストック関連資産 <sup>*3</sup>             | 13.6兆円           |    | ●  |    |       |
|          | AM部門AUM <sup>*4</sup>              | 44兆円             |    |    | ●  |       |
| デジタル     | デジタル案件価値創出件数 <sup>*5</sup>         | 10件              | ●  |    |    |       |
|          | デジタル案件トライアル件数 <sup>*6</sup>        | 50件              | ●  |    |    |       |
| サステナビリティ | SDGs関連債リーグテーブル                     | 2位以内             |    |    |    | ●     |
|          | エンゲージメントサーベイスコア                    | 80%以上            | ●  |    |    |       |
|          | 自社の温室効果ガス排出量 <sup>*7</sup>         | FY2030 ネットゼロ     | ●  |    |    |       |
|          | 投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量 <sup>*7</sup> | 186～255g-CO2/kWh | ●  |    |    |       |

\*1 ベース利益は、WM+証券AM+不動産AMの経常利益額合計。このうちWMは、旧リテール、大和ネクスト銀行、大和コネクト証券、Fintertechの経常利益の単純合算

\*2 預り資産残高は、大和証券の預り資産残高

\*3 スtock関連資産残高は、投信、ファンドラップ、外貨預金

\*4 AM部門AUMは大和アセットマネジメント、大和ファンド・コンサルティング、大和リアル・エステート・アセット・マネジメント、サムティ・レジデンシャル投資法人、大和PIパートナーズ、大和エナジー・インフラ、大和企業投資のAUM合計

\*5 デジタル案件価値創出件数は、新しいデジタル技術を活用している案件で、かつ新規性があるもしくはビジネス変革に資する案件をカウント

\*6 デジタル案件トライアル件数は、DX案件とAI・データサイエンス案件のトライアル件数をカウント

\*7 自社の温室効果ガス排出量はScope1+Scope2の合計。投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量の対象は、電力セクターへのプロジェクトファイナンス。一部推計値を含む

# 2026年度経常利益目標のセグメント別内訳

- 各事業領域において、「お客様の資産価値最大化」のための付加価値の追求やオーガニック/インオーガニックな成長戦略の実行を通じて、2026年度の連結経常利益2,400億円以上を目指す

